

## 第20回「大学コンソーシアム岡山」運営委員会 議事要旨

- 日 時：平成22年5月25日（火）15時00分～16時20分
- 場 所：岡山商科大学 井尻記念館 4階 多目的ホール
- 出席者：22／36
- 欠席者：岡山県立大学（子野日），岡山学院大学（友近，高田），川崎医科大学（堀江），環太平洋大学（中原，清水），吉備国際大学（加藤，伊藤），倉敷芸術科学大学（妹尾），くらしき作陽大学（松下），就実大学（小山），中国学園大学（飯田），美作大学（片山），岡山経済同友会（梶谷）
- 陪席者：中国銀行（川口），山陽新聞社（滝本），おokayama観光コンベンション協会（徳弘，脇），岡山県国民文化祭推進室（肥塚，片山），岡山県文化連盟（曾田，高田）

### ○議 事：

議事に先立ち，木村前年度委員長（岡山理科大学学外連携推進室副室長）から，開会挨拶及び各出席者・陪席者等の紹介があった。

続いて，井尻会長（岡山商科大学学長），赤木副会長（山陽学園大学学長）から，新任の挨拶があった。

続いて，以下の団体等から資料に基づく説明と協力要請があった。

○おokayama観光コンベンション協会から活動内容の報告があった。

○岡山県生活環境部文化振興課国民文化祭推進室から国民文化祭・おokayama 2010の説明と協力要請があった。

○岡山県文化連盟から活動内容の報告があった。

引き続き，前回議事要旨（案）の確認が行われ，原案どおり承認された。

### ○審議事項

#### 1 平成22年度運営体制について

##### （1）委員長，副委員長の選出について

大学コンソーシアム岡山運営委員会規程第4条の規定により，岡山商科大学副学長の大崎教授を互選により委員長に選出し，大崎新委員長から新任の挨拶があった。続いて，委員長の指名により経済同友会教育問題委員長の原山陽放送株式会社常務取締役を副委員長に選出した。

(2) 平成22年度企画会議の委員について

委員長から、【資料1】に基づき企画会議の委員を選出したい旨の提案があり、原案どおり承認された。

(3) 各種会議等の運営について

委員長から、次のとおり運営方針の提示があり、承認された。

①運営委員会について

- ・年3回程度開催することを原則とする。
- ・会議は、火曜日の14時から16時頃までの時間帯のうち、1時間半以内に開催することを原則とする。
- ・代表者会議で検討する内容は、予め本委員会の議を経ることを原則とする。
- ・諸事業を遂行するにあたっては、委員長の判断と企画会議の機能を高めることにより、よりスピーディで機能的な実施を図る。  
また、必要に応じてメールによる情報交換を行い、連携を密にする。
- ・行政・団体や産業界を含め、各機関からの情報提供を受ける場として、運営委員会の活用を図る。

②企画会議について

- ・運営委員会委員長を中心に、各事業部活動の活性化と機能アップを図る。そのため、必要な都度会議を開催し、意志の疎通等を図る。
- ・各事業部活動を遂行するにあたっては、出来るだけメール等での意見交換を活発に行い、機能的かつスピーディに実施する。
- ・実施内容等については、事業部報告として運営委員会で報告する。

また、今年度名簿について、【資料1-2~6】から変更・修正があった場合は、事務局まで連絡してほしい旨依頼があった。

○報告事項

1 第9回代表者会議について

委員長から、【資料2】に基づく報告があった。

2 各事業部報告

委員長の指名により、各事業部リーダー等から、資料に基づき以下のとおり報告があった。

<大学教育事業部>【資料3-1】

- ・単位互換について、前期受付期間が終了し、資料に基づき、各大学の状況について報告があった。
- ・単位互換の履修受付期間について、現在は前期4月1日～7日、後期7月1日～7日としているが、各大学の履修登録期間等とのずれが一部に生じており、学生への周知が難しいなど、履修者が伸び悩んでいる一因となっているとの意見が出ている。このことを踏まえ、期間の変更（若しくは延長）について見直しを検討中である旨報告があった。検討結果を基に、今後の在り方について方策を探り、次回の本委員会に諮る旨報告があり、了承を得た。
- ・単位互換について、現在、本制度への参加を認めていない特別会員（短期大学・高専）にも参加可能な環境を整備することを検討する旨報告があり、了承を得た。

<社会人教育事業部>【資料3-2】

- ・吉備創生カレッジ前期分について  
前期分の受講状況について資料に基づく報告があった。  
また、実践・研修講座への職員派遣依頼を後日行う旨の報告があり、協力要請があった。
- ・吉備創生カレッジ後期分について  
スケジュール等について説明があり、6月11日（金）締切への協力要請があった。
- ・吉備創生カレッジ『特別講座』について  
山陽新聞社で受講者に対するアンケートを実施した結果、歴史講座の人気の高いことから、今年度後期中、或いは来年度に『特別講座』を開催したい旨報告があり、了承を得た。実施については、今後部会を開催して協議の上検討していく旨報告があった。

<産学官連携事業部>

- ・コーディネート科目である「キャリア形成講座」について受講状況等の報告があった。
- ・岡山オルガノンから事業委託を受けることについて説明があり、詳細については岡山オルガノンの担当者と協議の上検討していく旨報告があった。

○その他

- 1 原副委員長（岡山経済同友会教育問題委員会委員長）から、今年度も教育問題委員会は前年度に引き続き、産学官連携を推進することが決定され、大学への支援事業を積極的に行いたいとの報告があった。
  
- 2 おかやま新規学卒者就職応援協議会について  
木村産学官連携事業部リーダーから、岡山県から「おかやま新規学卒者就職応援協議会」の発足に向けて準備が進められているが、岡山県下には就職活動に係る全16大学を束ねる組織がないことから、本コンソーシアムに委員の推薦依頼があった旨報告があった。現在、本コンソーシアムにも就職活動に係る掌握部署がないため、委員会若しくは組織を立ち上げることにについて、企画会議において検討していきたい旨の提案があり、了承された。
  
- 3 第2回「古典の日」記念朗読コンテストについて  
委員長から、卓上配布資料に基づく説明があった。

※次回開催予定は8月下旬頃の予定（追って正式な日時を通知）。

以 上